

安全上の注意

- 取り付けの前、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
● 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

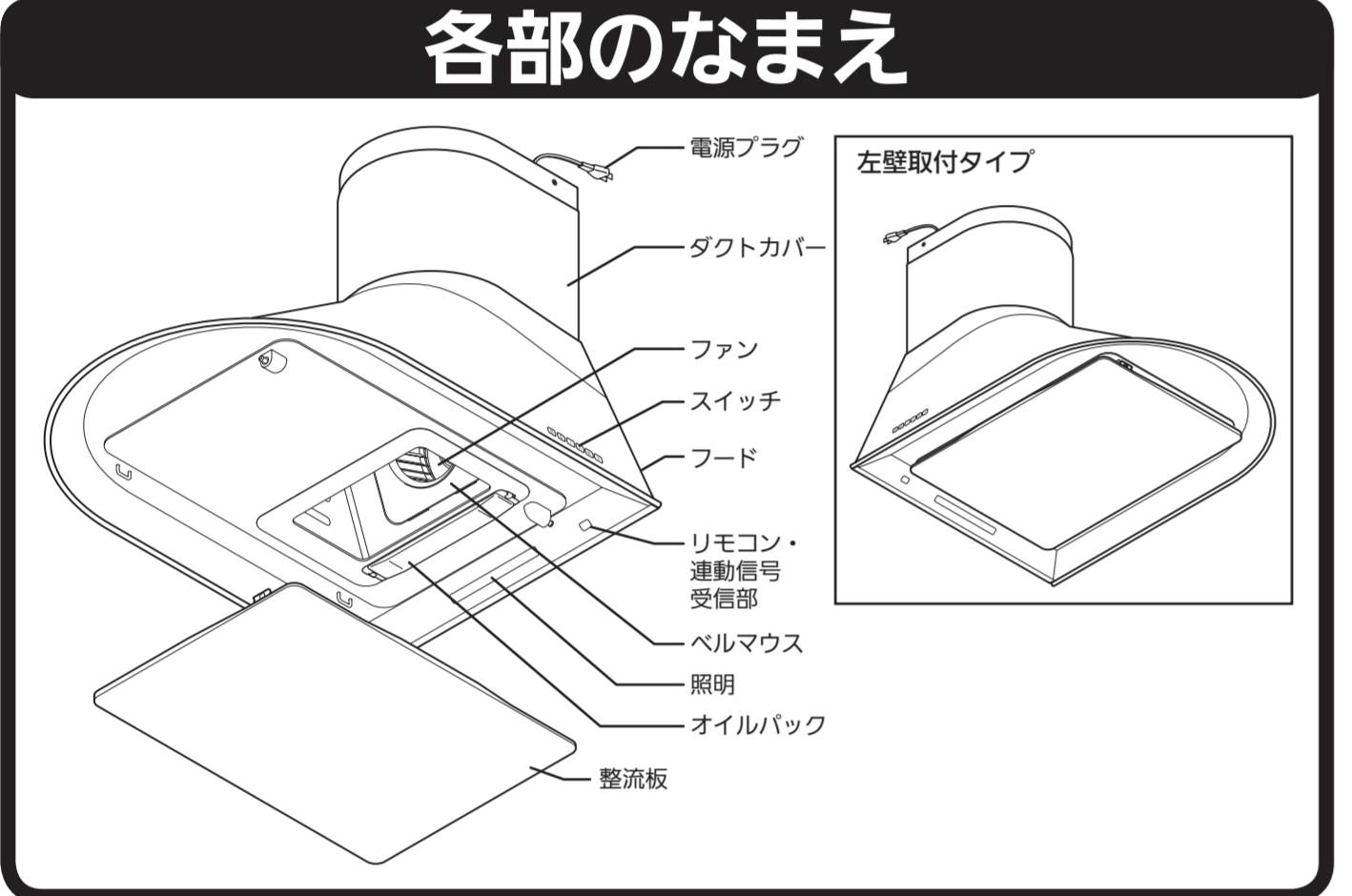
- 警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● レンズフードの壁への埋め込みは、漏電した場合、発火するおそれがあります
● アースを確実に取り付けること
● レンズフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用してください
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
● レンズフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けること
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること
● 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

- 注意
● 浴室など湿気が多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けられないこと
● 火災・故障の原因になります
● 燃焼中の排気口や角でけがをするおそれがあります
● レンズフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 作業は 2 人以上でおこなうこと
● レンズフードは約 26kg の重さがあります

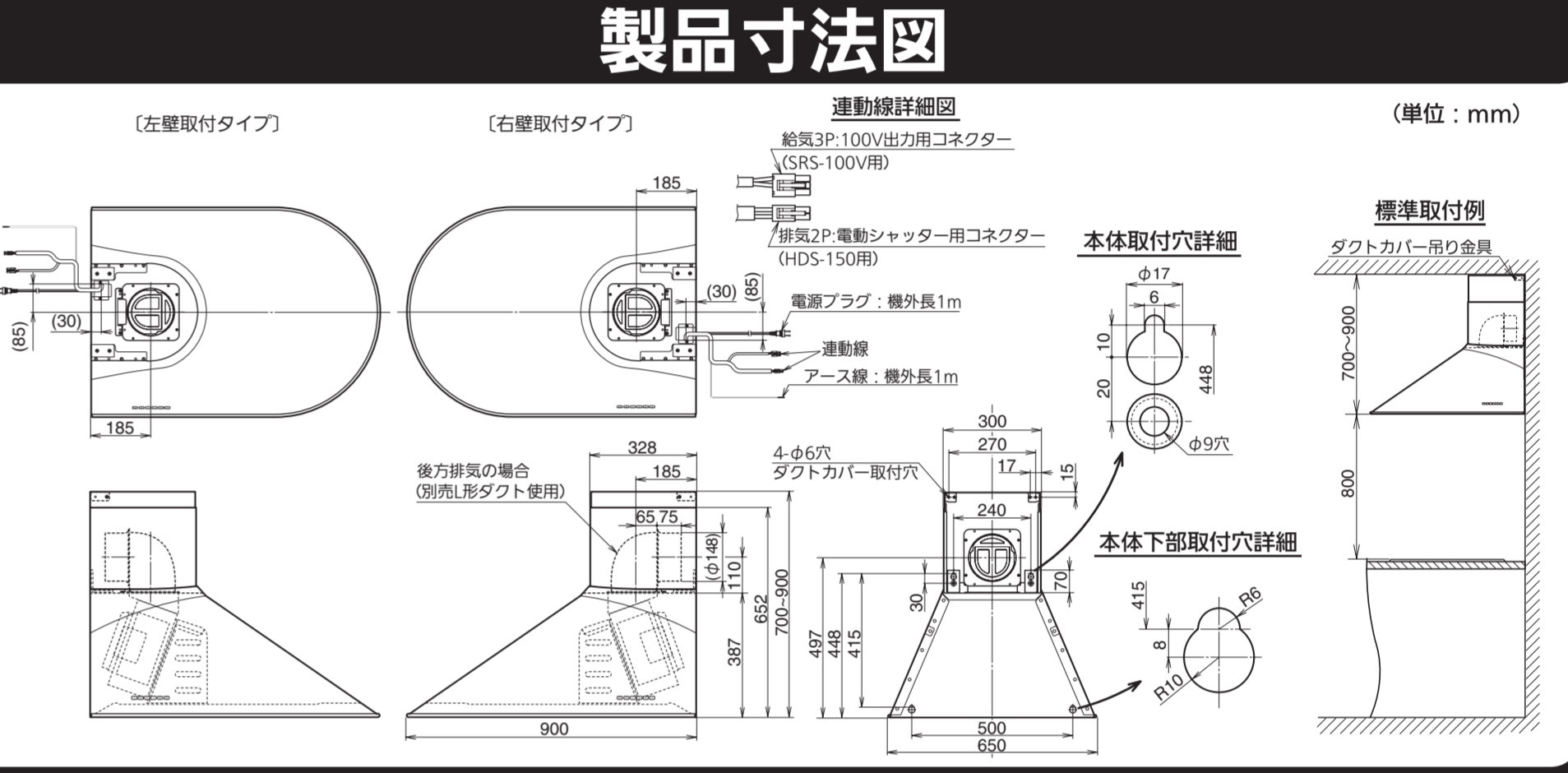
取り付け上のお願い
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者がおこなう必要があります。
● ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣承認品の不燃材料で被覆してください。
● 調理機器の幅はレンズフードの幅以内のものをご使用ください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちいち低下させたり、騒音が大きくなりやすくなりますので使用しないでください。
● レンズフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。
● 本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
● また、レンズフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
● レンズフードは調理機器の真上に取り付けてください。
● レンズフード取付面の補強部は、必ず 80cm 以上確保してください。
● 取付用座付ねじは、必ず 80cm 以上確保してください。
● 取付用座付ねじは、必ず 80cm 以上確保してください。
● 取付用座付ねじは、必ず 80cm 以上確保してください。

取り付け前の調査と準備
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンズフードの壁への埋め込みはしないこと
● レンズフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用してください
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● レンズフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取り付けること
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
注意
● 周囲温度が 40℃ 以上になるところには取り付けられないこと
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
● レンズフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること
1 取付面の強度確認
● 製品を支える強さが必要です。
● 板張りの場合(取付面は必ず不燃処理をおこなってください)
● 板厚が 20mm 以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。
● コンクリート、タイル壁の場合
● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

土壁の場合
● 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。
2 別売部品の準備
● 排気工事に伴った別売部品の準備が事前に必要です。
3 標準取付寸法
● 本製品の標準取付寸法は、調理機器の上からレンズフードの下端まで 80cm 以上です。
● ※ 防火予防対策として、グラスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となります。
4 電源コンセント・ブレーカー
● 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。
● コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。
● 必ずアース(D 種接地工事)をしてください。
● レンズフードが誤作動することがあります。



- 付属品
● 座付ねじ (φ5.1×45) 8本
● 引出ねじ (φ5×35) 2本
● 化粧ねじ (M4×8) 2本
● 排気口 1個
● ソフトテープ 1本
● ダクトカバー 1個
● ダクトカバー吊り金具 2個



取り付けかた (Installation steps)

1. 付属品の確認
注意
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
付属品を確認します。
梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧により不足がないか確認します。
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 製品下面の保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のため、図 18 固定テープの取りはずしまでははずさないでください。
● 床で作業する場合は、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. 排気方向の決定
警告
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けること
● 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
● 配線工事は電気設備技術基準(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 火災などの原因になります
● レンズフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用してください
● 火災などの原因になります
● 詳しくは所轄の消防署にお問い合わせください

3. 排気用部品の準備
● 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。
● 上方排気の場合
● 下方排気の場合(別売の L 形ダクトを使用する場合)

4. 本体の取り付け
注意
● レンズフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実にすること
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 部屋の取り付けは確実にすること
● 落下によりけがをするおそれがあります
● レンズフードの前後および左右方向の水平を確実にだしてください。
● 水平に設置されていないと、本体内部の汚れ(油)が各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
● キッチンパネルの上端部にレンズフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンズフードと壁面のすきまに挟み込む部材は可燃性のものを使用しないでください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。

5. ダクトと排気用部品の接続
● ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピンねじの使用範囲以内に固定してください。
● アルミテープ
● 上方排気の場合
● 下方排気の場合(別売の L 形ダクトを使用する場合)

6. 電気配線
警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
● 交流 100V 以外では使用しないこと
● 火災・感電の原因になります
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事をおこなうこと
● 誤った配線工事は感電や火災の原因になります
● アースを確実に取り付けること
● 故障や漏電のときに感電するおそれがあります
● アースの取り付けは販売店にご相談ください

7. ダクトカバーの取り付け
1 取付位置を確認します。
2 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。
3 ダクトカバーを取り付けます。
4 化粧ねじ(M4×8)2本でダクトカバー吊り金具に固定します。

8. 固定テープの取りはずし
● 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
● 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルバックを固定しているテープをはがします。
● 固定テープをはがした後は整流板をもとどりに取り付けてください。

9. 取り付けかたは裏面に続きます。
● 取り付けかたは裏面に続きます。

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。  
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

### 取り付けかた (つづき)

#### 9. 試運転

##### ⚠ 注意

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと  
けがをするおそれがあります
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 最終設置した状態で試運転してください。
- 運転時、各運轉の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした製品下面の保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

#### 10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

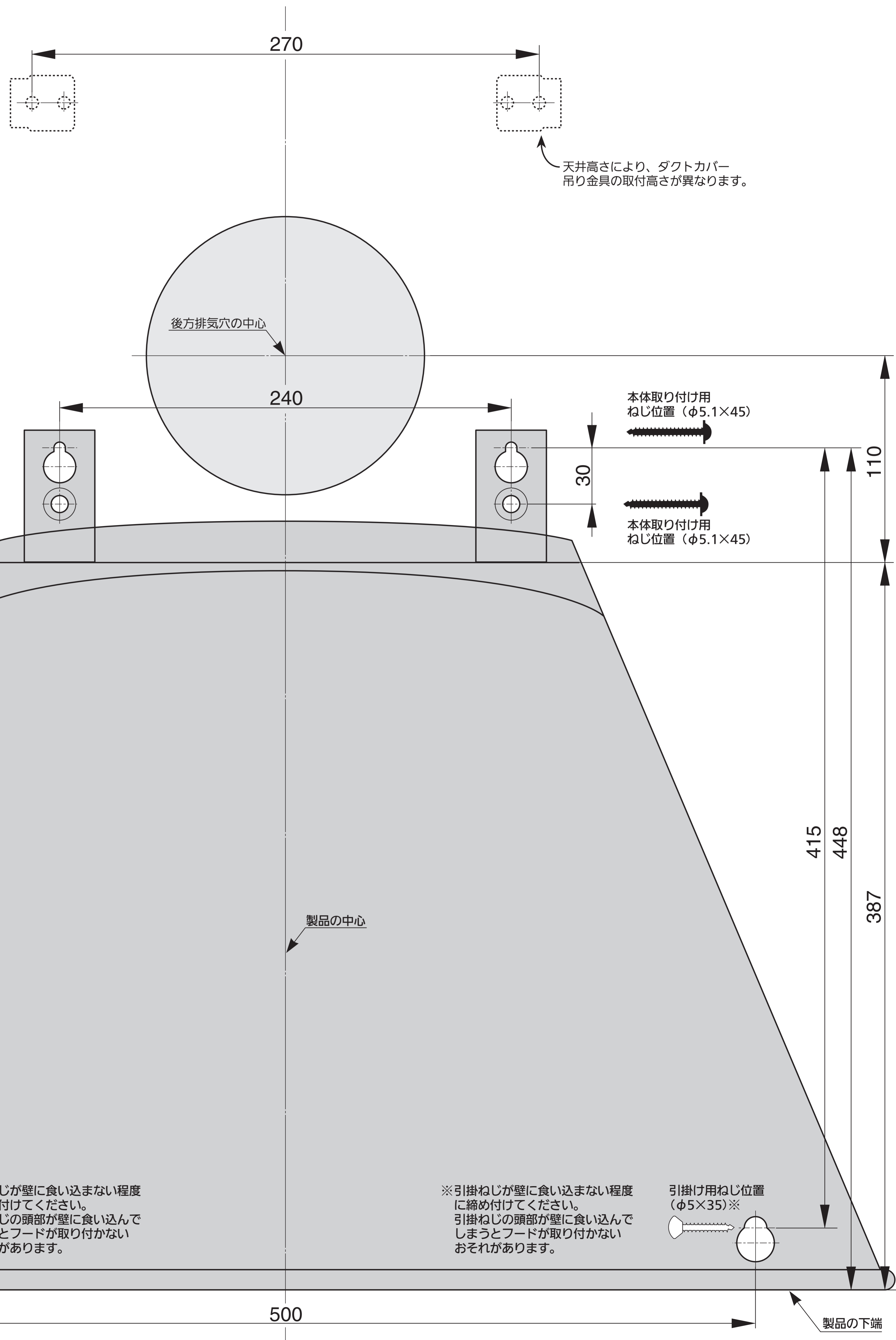
【製造元】 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社  
 本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号  
 TEL 042(768)3754 (営業部)

### 原寸大型紙 (寸法単位は mm)

**お願い**  
 この型紙は湿気の影響で 2 ~ 3mm 誤差が生ずることがあります。  
 寸法をお確かめの上ご使用ください。

**取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。**

※ 表面は取付説明書になっています。  
 よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。



天井高さにより、ダクトカバー吊り金具の取付高さが異なります。

後方排気穴の中心

240

本体取り付け用  
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用  
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用  
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用  
ねじ位置 (φ5.1×45)

30

110

415

448

387

製品の中心

引掛け用ねじ位置  
(φ5×35)※

※引掛ねじが壁に食い込まない程度に締め付けてください。引掛ねじの頭部が壁に食い込んでしまうとフードが取り付けられないおそれがあります。

※引掛ねじが壁に食い込まない程度に締め付けてください。引掛ねじの頭部が壁に食い込んでしまうとフードが取り付けられないおそれがあります。

引掛け用ねじ位置  
(φ5×35)※

500

製品の下端